

STYLING

VOL.81 The North Face SINCE 1968~

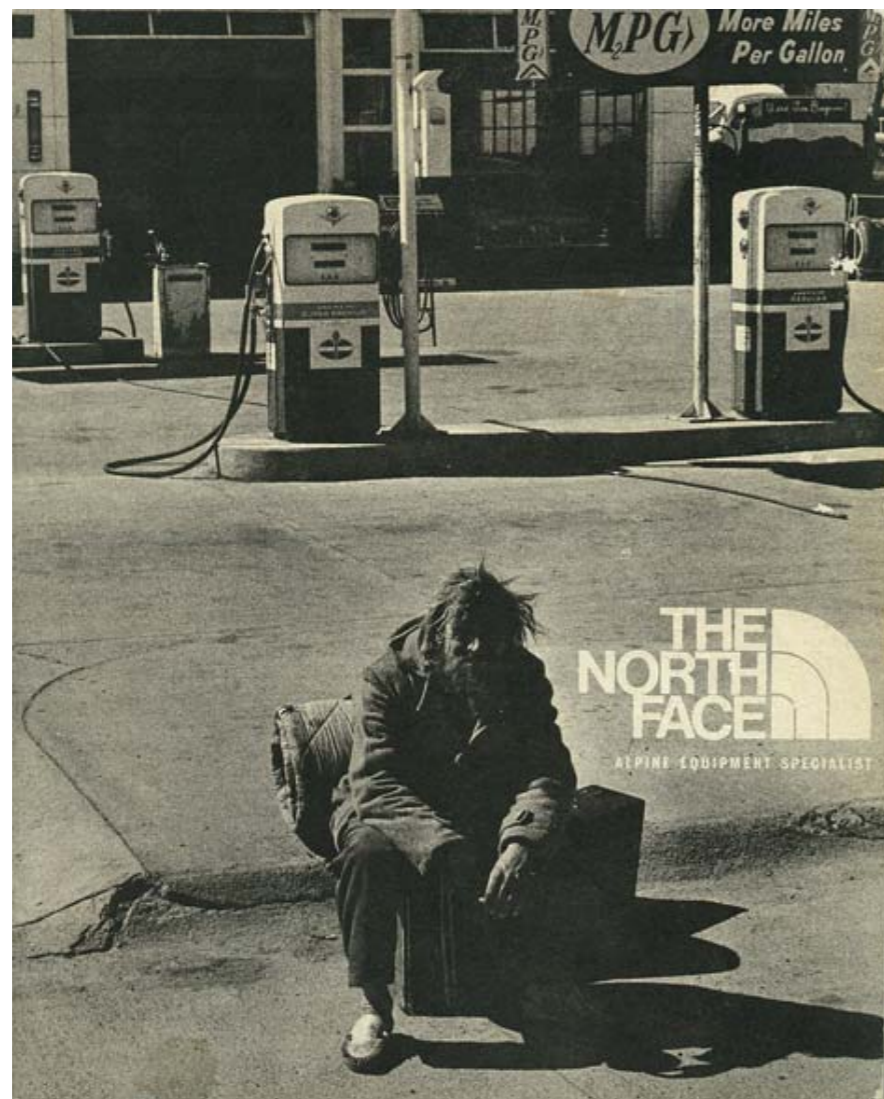
●[ザ・ノース・フェイス]

Photo / The North Face
Tomoaki Tsuruda(WPP)
Text / Teruhiko Doi(WPP)

MONO



1960年代末ころから隆盛を極めた
カウンタカルチャーはバックパッキングの
ブームも引き起こす。
ザ・ノース・フェイスの画期的な
スリーピングバッグやダウンジャケットは
アウトドア愛好家のみならず、
ヒッピーたちからも支持された。



1968年——アメリカでは
それまでの社会の在り方や
価値観に対し、若者の反発が
顕在化した激動の年であった。
産業革命による工業化社会への
問題提起がアーツアンドクラフツ
だとしたら、冷戦と核実験、
人種差別といった社会への
反動は、1968年頃から
アメリカで始まった、
カウンターカルチャー
による反戦運動。
その運動は反戦のみならず、
自然回帰や自然保護、芸術、
音楽といったさまざまな
方面へと広がりを見せた。
アウトドアの名著である
コリン・フレッチャーの
「コンプリートウォーカー」が
発刊されたのもこの年である。
そんな激動の時代に、
イヴォン・シュイナードと
ダグラス・トンプキンスという、
南米パタゴニアを6か月に
わたって旅した二人の若者がいた。
彼らは後に、
それぞれ「パタゴニア」と
『ザ・ノース・フェイス』という
アウトドアの歴史に残る
名門ブランドの礎を築いた。
そして、ハップ・クロップが
ザ・ノース・フェイスの経営に
参画した年、1968年が
同社の創業年となる。

MONO



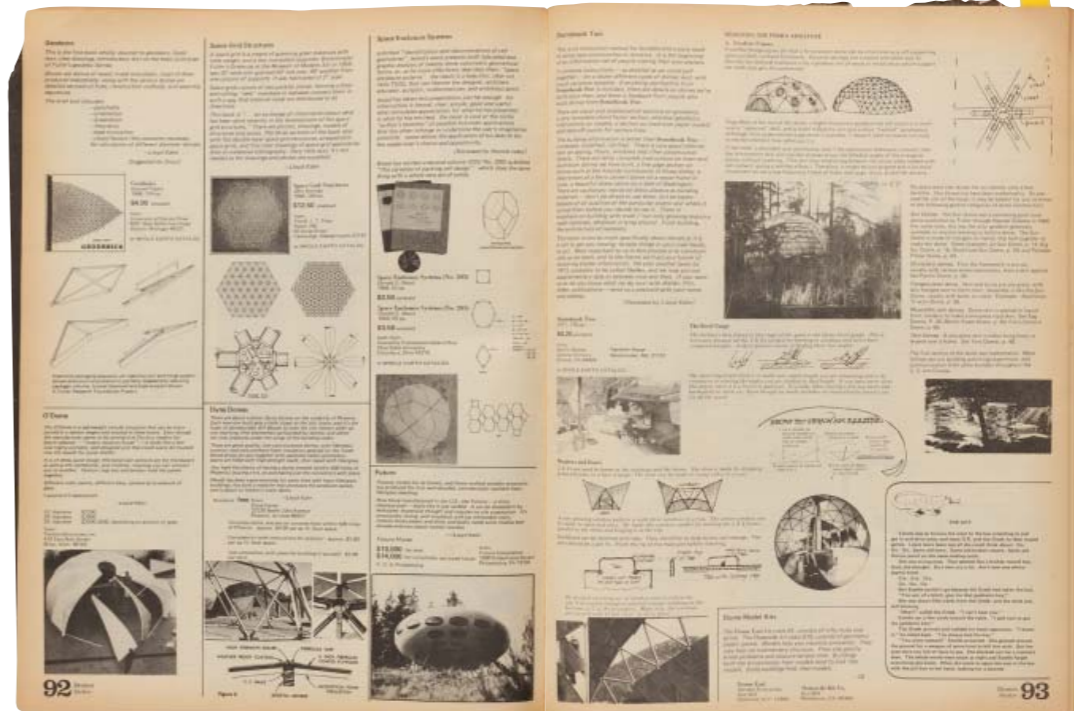
最近よく耳にする“サスティナブル”という言葉。意味は「持続可能」という意味で、フラー博士はその生涯を通して人類の生存を接続可能なものとするため方法論を求めていた。企業買収のM&Aなどで使われる“シナジー効果”という言葉も早くから物理学的な提唱で発信していた。

バックミンスター・フラー博士のジオデシックドーム

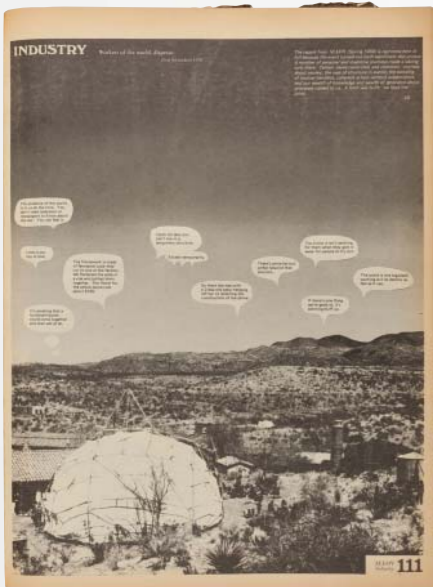
リチャード・バックミンスター・フラーは、1895年マサチューセッツ州生まれの思想家、建築家、デザイナー及び詩人。球に近い正多面体構造のドームハウスは、フラー博士が1947年に考案した。ジオデシックとは測地線という意味で、正三角形に近い三角形で球体を細分割し、球面を測地線を近似する線分の集まりで構成してドームを作り上げる。柱や壁といった概念はそこになく、非常に数学的かつ哲学的な建造物。ちなみに富士山頂のレーダーもこのジオデシック形。柱や壁がないので広い空間が得られるため、当初は万博などのパビリオン（有名なのは1967年モントリオール万博のアメリカ館）用に建てられ、老妻の名前から、別名フラードームとも呼ばれる。



第二次世界大戦後に展開されたジオデシックドームなどが多数掲載された誌面。自然環境との共存、回帰が根底の哲学としてある。いまでいうところのエコロジーを早くから提唱していたわけだ。この雑誌に影響された企業の経営者も少なくない。アップルの創始者、スティーブ・ジョブスもその一人である。



地球と繋がる、というメッセージを発信する誌面。さまざまな気象条件に柔軟に対応するジオデシックドームの形は、ザ・ノース・フェイスのドーム型テントでひとつの完成を見ることがとなる。



ザ・ノース・フェイスが設立された1968年は、ヒッピーたちにとっても大きな影響を与えた年。それは雑誌、

「ホールアースカタログ」

「全地球カタログ」が

発行された年でもあった。

この本は主にヒッピーコミュニティで愛読され、商品情報や

コミュニティにおける哲学的な視点などが掲載されていた。

中でも20世紀の

レオナルド・ダ・ヴィンチと評される

リチャード・バックミンスター・

フラー博士の

ジオデシック・ドーム理論は、

この雑誌の目玉ともいえる企画で、

後に、建築・デザイン・思想といった

多くの分野に影響を与えた。

1970年代初頭には、

ザ・ノース・フェイスは

フラー博士の提唱する

ジオデシックと

テンセグリティ理論に基づいた

テントの開発をスタートさせ、

「オーバルインテンション」と

呼ばれる世界初のドーム型テントを

1975年に発表した。

このアウトドアイクイップメントの

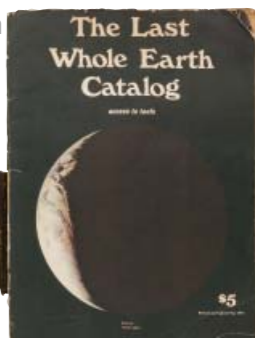
常識を覆すテントは、

原始的な構造が支配していた

テント・デザインの世界に、

革命的なテクノロジーの重要性を

知らしめる存在となった。



The Whole Earth Catalog

1968年にスチュアート・ブランド、ロイド・カーンらによって創刊。NASAに地球の写真の提供を働きかける運動を起し、その活動が実って創刊号の表紙には宇宙に浮かぶ地球の写真が使われた。1974年に廃刊。左の写真はドーム内で講演するロイド・カーン。



Spring-Summer 1978

The North Face has long been known for its functional, high quality outdoor equipment. Throughout the world, wilderness adventurers have outfitted themselves with our packs, tents, sleeping bags and parkas. In recent years, "innovative" has also become associated with the North Face name. Our Back Magic, introduced in the Fall of 1976 was a major breakthrough in pack design. Its articulated mid-joint makes the Back Magic the first and only pack & frame that does not impede the natural rotation of hips and shoulders. In the area of portable shelter, the introduction of the Oval Intention in the Fall of 1975 marked the first geodesic dome backpacking tent available, providing the greatest strength and stability with the least material over any other dome design. However, we did not, could not do it alone.

The advantages of the geodesic pattern have been discovered, explored and communicated by R. Buckminster "Bucky" Fuller. Pictured below, Mr. Fuller is stepping out of a 6 meter, 6 frequency geodesic structure designed, constructed and presented to him by The North Face Design Staff. Our thanks to Bucky go beyond a single gift. It is due to his works that we are introducing two new geodesic tents to our line this Spring. Therefore, it is with great pleasure that we dedicate this catalogue to R. Buckminster Fuller.



The two new geodesic patterns shown above are each designed for specific climates and conditions. The VE-21 (upper) is intended for use in warm, temperate, high humidity locales, while the VE-22 has been designed for use in all climates and is especially suited for snow camping. Both sleep two people (plus gear) comfortably and each tent is the lightest self-supporting tent of its type ever seen.



NEW FOR '78 - The Fancy Pack (top right) is just right for short excursions and small loads. The Bush Bag Pack (lower center) is ideal for the student and the sporting. The new Aukpak II (center) is great for climbing, touring or trekking. Three sizes of both Luggapack (top center) are durable and versatile for semi-annual modes of travel. And hot hot hot, see two new sets of Rain Gear (top right) keep you dry in a storm.



Four great North Face duster can show you these and all North Face products. Our dealers are chosen for their expertise, write us for the nearest one.

The two new geodesic patterns shown above are each designed for specific climates and conditions. The VE-21 (upper) is intended for use in warm, temperate, high humidity locales, while the VE-22 has been designed for use in all climates and is especially suited for snow camping. Both sleep two people (plus gear) comfortably and each tent is the lightest self-supporting tent of its type ever seen.



1978年のカタログに掲載されたドーム型テント。センターポールを立てて張っていた旧来のテントに比べて格段に張りやすい構造。

Table of Contents	
Packs	4
Necessities	13
Tents	14
Tribute to Bucky	24-25
Bags	26
Filts, Fabrics & Finishes	31
Cleaning & Care	35
Parkas	36
The North Face Warranty	46
Alaskan Lands	47

MONO



アップル創始者のスティーブ・ジョブスは有名なスタンフォード大学の講演で「Stay hungry, Stay foolish」という言葉を学生たちに贈った。これはホールアースカタログ最終号の裏表紙に飾ってあった言葉。「いつまでも無謀でいよう」という意味で、冒険を恐れるな、ということだろうか。

常にいまがベストであり続けるブランド、ザ・ノース・フェイスの革新と冒険。

1968年に創業した「ザ・ノース・フェイス」。同社を一躍有名にしたのは「最低温度規格表示」されたスリーピングバッグによって。この製品を企画したのは、スタンフォード大学を卒業したばかりのハップ・クロップ。いまでは当たり前となったスリーピングバッグの規格やテックノロジーを生み出した。1969年にはそのノウハウを活かしたダウンジャケットの開発を開始し、いまで言うダウンパーカの原型とな

る。シエラ・パーカを発売した。防寒着といえば、厚くて重い重衣料が常識の世界に、パラシュート用ナイロンの肌触りと、最高級のダウンを注入した保温性を提案した。ハンドウォーマーやカーゴポケットといった意匠もこれが原点。そして、同社の名を世界に知らしめたのがテントとバックパック。特にテントは、バックミンスター・フラーム博士のジオデシックドーム理論を具現化したもの。その理論の根底にあるも

のは「正三角形を基本とした正二十面体を基本として球状の形態を構成するもの」という考え方。その球に近い形を工業生産化するのに、最も理想的な形がジオデシックドームだった。保守的なアウトドア用品の世界で、彼らのドームテント「オーバルインテンション」はあまりにも進み過ぎたプロダクトだったが、図らずもその優秀性が翌年に証明される。それはイギリス・カナダ合同隊によるパタゴニア遠征のこと。同隊はその



THE NORTH FACE logo and text: A Cut Above. The VE-21, a systems four season tent from the successor of geodesic tent, the search pack. Chosen most recently by the first American Trek to the Tibetan side of Mt. Everest, after years of rigorous tests around the world. Write for our free catalog featuring all our tents, backpacks, sleeping bags and more from the search pack. Dept. M78-4, 1234 5th Street, Berkeley, California 94710 USA.

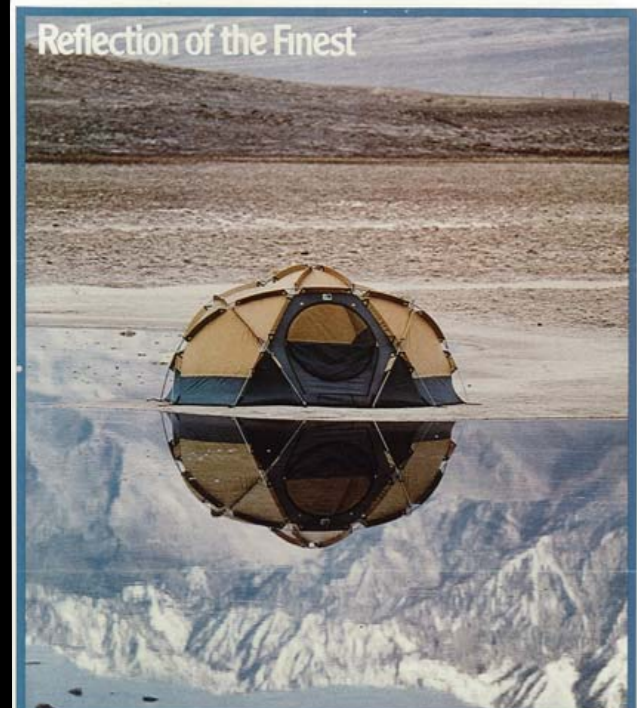


いまこそドーム型テントはアウトドアシーンでは見慣れた存在だが、発売当時は机上の理論と揶揄されたことも。

遠征で時速200kmとも伝えられる暴風雪に遭遇し、従来のテントが吹き飛ばされる中で、このテントだけが吹き飛ばされなかったのだ。1976年のことだった。世界初のフレームバックもこの年にデビューさせた。イノベーションのない

アウトドアメーカーは存続できない、というのはいまでは常識のように言われているが、そうした常識はまさにこのブランドから始まっていると言っても過言ではないだろう。同時に、アウトドアイクイップメントを製造する企業間の開発競争も

促し、現代のモノ作りにおけるテクノロジ進化に多くの影響を与え続けているブランドでもある。決して過去の栄光に甘えることなく、いまベストであること、を求め続けているザ・ノース・フェイス。彼らの革新と冒険の旅に終わりは無いようだ。



THE POLE SLEEVE OVAL INTENTION. Offspring of the original geodesic backpacking tent. It employs only the finest materials, tested and proven in the most rigorous conditions. Like the complete search pack product offering, it carries the traditional NORTH FACE Full Warranty. Free, four color catalog and Dealer Listing. THE NORTH FACE, Dept. GEO-2, 1234 5th Street, Berkeley, California 94710. THE NORTH FACE logo.

極点を目指す冒険家たちも、ザ・ノース・フェイスのドーム型テント。極限の状況に置かれる人が選ぶわけだから、その機能に間違いはない。



上から2番目の写真は、テントについて打合せをしているフラーム博士とザ・ノース・フェイスのスタッフ。ドーム型テントは構造体をすべて外側に持つことで、柱という概念がなく、居住空間が広い。



ザ・ノース・フェイスのカタログ内でも紹介されている、バックミンスター・フラーム博士のジオデシックドーム理論。科学的な根拠が説明されていて興味深い。

STYLING



ハップ・クローブ
創始者のダグラス・トン
プキンスの後の経営者
ヒューサー兄弟に資金提
供を行い、自らザ・ノー
ス・フェイスの初代社
長に就任。画期的な製
品を数多く生み出した。

MONO



ザ・ノース・フェイスの製品に
関するお問い合わせは
◎ゴールドウイン・カスタマーセンター
☎0120-307-560
<http://www.goldwin.co.jp/tnf>



ブイー25 (VE 25) / 多くの巖冬期登山や高峰遠征隊
を支えている定番モデル。オールシーズンで使用可。
3人用。価格9万5040円



2メートルドーム (NV21400) / 極地遠征隊のベース
キャンプテントとして、隊の行動を支え続けている4シー
ズン用巨大ドームテント。定員8人。価格86万4000円



トーラス2 (NV21403) / 最小限のポール数で最大限の
広さを提供する汎用性の高い入門用モデル。サブポール
によって壁が立ち上がる設計。2人用。価格3万6720円



ストームブレイク (NV21404) / バックパッキングや自
転車旅など、ソロの旅を支えてくれる超軽量テント。わず
か1.4kgのウルトラライト志向。1人用。価格2万520円



カイジュー6 (NV21405) / 6人まで寝られる広々とし
たスペースと、ほぼ同じ広さの前室で構成された便利な
設計。雨天時に前室を土間として使える。価格6万1560円



アサルト3 (NV21501_SG) / 防水透湿素材“ドライウ
ール”を使用した、軽量シングルウォールテント。軽さを
優先した設計で、雪山登山にも。最大3人。価格8万1000円